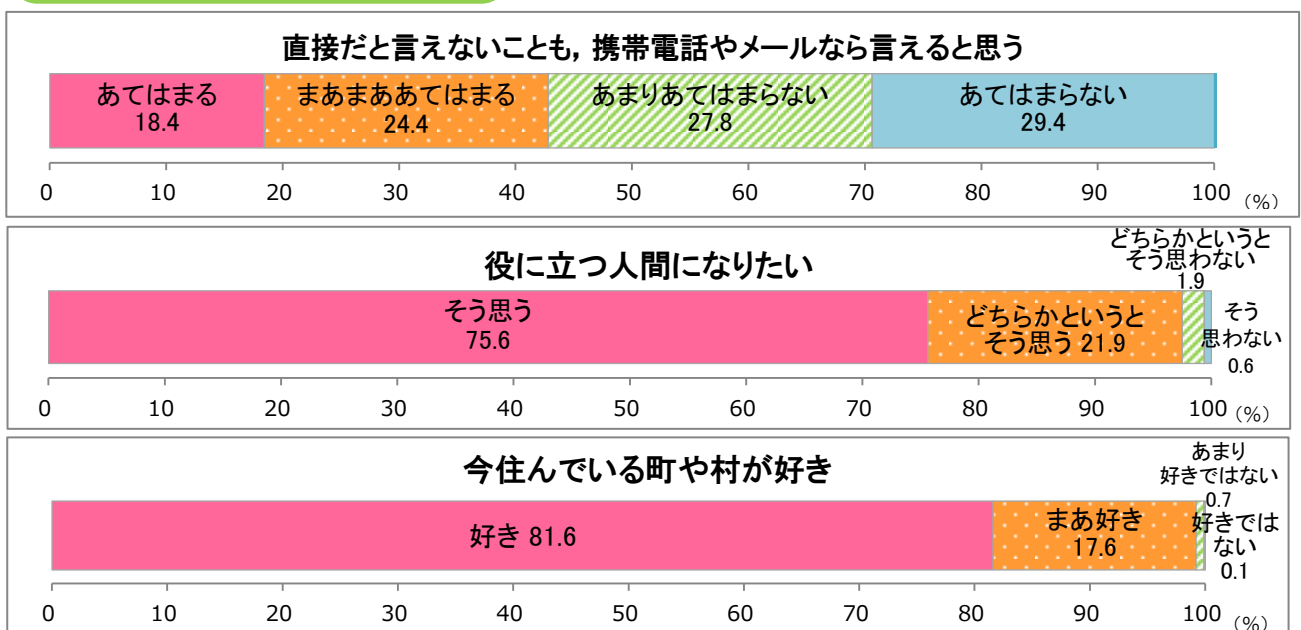


近頃の子どもは… ～現代の子どもたちの特徴と接し方～

ワーク1 あなたが普段感じている、現代の子どもの特徴を考えてみましょう。

データで見る現代の子ども



■出典 「小学生・中学生の意識に関する調査報告書」(H26.7 内閣府)

ワーク2 子どもの頃を振り返り、地域の人たちの自分に対する声かけや関わりで、心に残っていることを、出し合ってみましょう。

「笑顔・あいさつ・声かけ」で育てよう！地域の宝子

子どもの本質はそんなに変わらないものです。ワーク2のように、自分の子どもの頃を思い出して、心に響くコミュニケーションを心がけましょう。

- (1) まずは**笑顔**で**あいさつ**をすることから始めましょう。恥かしそうにしながらも、あいさつを返してくれる子どもが多いものです

あいさつもしないで！
最近の親は、しつてもきちんとできないのかねえ、まったく！



元気がないようだね。
いじめられたりしてなければいいんだけど…。家の人にも伝えておこうかね。

- (2) 認められるのは、子どもにとってうれしいものです。家の手伝いや、ボランティア活動等に努力している姿を見かけたら、「がんばってるね。」と**声をかけて**あげましょう。
- (3) 社会のルールやマナーに反する行為を見かけたら、「どうしたの？」「何かあったの？」と声をかけ、「でも、それは、やってはいけないことだ。」教えましょう。

見て見ぬふりをして、後から子どものいない所で批判しても、子どもは育ちません。



親のしつめの仕方が原因ではない場合があります

じっとしてられる時間が短い。

順番が守れない。

特定のことにこだわる。



注意しても同じことを繰り返す。

思ったことをそのまま口に出してしまう。



生まれつきの特性の場合がありますが、**周囲の理解と適切なサポート**により、個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくことができます。

♡♡♡こんな接し方だと うれしい♡♡♡

- ① **できたこと、努力していること、うまくいっていることをほめる**（できないことを叱るのは逆効果）
- ② **短い肯定文で、具体的な指示を**（「早く帰りなさい→〇時まで」、 「～してはだめ→～しましょう」）
- ③ **写真や絵など視覚的情報を**（言葉で言われるよりも、目で見て分かる情報の方が理解しやすい。）
- ④ **安心できる環境を整える**（感覚が過敏で、人混みや大きな音、光などの刺激は苦手な傾向がある。）
- ⑤ **善悪やルールは教える**（暗黙の了解やルールを察するのは不得意。具体的にどうするかを教える。）
- ⑥ **温かく見守る**（大声で怒鳴るのは逆効果、少し待つ方が早く混乱から抜け出せることもある。）

■参考「政府広報オンライン 暮らしのお役立ち情報「発達障害って、なんだろう？」

ワーク3 今後の地域の子どもたちとの接し方について考えたことを書きましょう。